

# 日退教通信

No. 367

2016.7

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F  
 発行責任者 竹田邦明  
 TEL 03(52275)2197 FAX 03(52275)2081  
 Email: hntaikyo@gmail.com ホームページURL: http://www.nritaikyo.com

## 第45回総会開催！6月10日



日退教 西澤 清会長

歳代の卒業生から「昔のようにもう一度やろうよ」と呼びかけられました。閣僚の半数以上が「日本会議」会員です。彼らは、「教基法」改悪、「国旗国歌法」制定、「つくる会教科書」採択推進など保守派の攻撃を強めています。神社庁、霊友会等、宗教のベールをかぶせた保守派の運動もあります。

### ・西澤会長

昨年は、「戦争法」反対でお互い汗を流しました。安倍政権と決着をつけるのが参院選です。日退教は、比例・なたにや、愛知・齋藤、兵庫・水岡の必勝を期して闘っています。それは、平和への道か、戦争への道かを選ぶことでもあります。アベノミクスに失敗した安倍政権は、消費税増税延期を問う選挙だとしていますが、争点を意図的に隠して逃げ切ろうとしているだけです。勝利の鍵は、平和と生活を訴え、無党派層の掘り起こしとその支持を獲得することです。先日、60

今回の参院選は民主教育を取り戻し、平和と生活を守り抜く闘いでもあります。すべての単会、全ての会員が、一人5票を、なたにや、齋藤、水岡に投票してください。それが、今私たちがやるべき最大の仕事であり、闘いです。この総会が、参院選勝利に全力を尽くす意志一致の場になることを確認して挨拶とします。



日政連 なたにや正義参議院議員

### ・なたにや参議院議員

日頃のご支援に感謝します。安倍総理が熊本で「やれることはすべてやります」と言ったなら、「やれねえことはやらねえのか」とヤジが飛んだそうです。昨年は国会前の集会で大いに元気づけられました。この参院選は安倍の暴走に決着をつける闘いです。私は「3分の2は取らせない」ではなく、「我々が過半数を取らん」選挙と考えています。大変厳しいことは分かっていますが、4人の日政連参議院議員のうち改選になる3人の当選を是が非でも勝ち取りたい。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 来賓の方々

※以下9名の来賓から「なたにや正義」必勝のあいさつがありました。



日教組 岡本泰良委員長



地公退 足立則安副会長



退職者連合 菅井義夫事務局長



日政連会長 神本みえ子参議院議員



元衆議院議長 横路孝弘議員



生きがい支援協会 森越康雄理事長



全国退女教 上東京子会長



相互共済会 草野秀一理事長



教職員共済 加藤良輔理事長

## 討論の概要

### 熊本県退教 田川勝也代議員

熊本の現状。学校現場が熊本地震によって避難所となっている。教職員も含められている。課題が学校現場に寄せられている。休校した子供の学習の保障をどうするのか。教職員の労働条件をどうするのかという課題も突き刺さって来ている。建物も相当の被害を受けている。

「三位一体の改革」により各自自治体は人員を減らしているが、災害時の対応にそのツケが大きく回ってきている。人手不足ということで、各県からの色々な職員の方が災害の復旧作業に入っている。復興に向けて進んではいるが、本当は未だ手付かずといった状況にある。今後、大分も含めていろんなご援助を頂くということになるのかと思う。お礼の言葉に代えさせて頂き、今後アドバイス等を頂けたら幸いである。

### 大分県退現教

#### 大城正二代議員

大分県では現退一致を基本



熊本県退教  
田川勝也代議員



大分県退現教  
大城正二代議員



福岡県退教  
住谷圭造代議員



埼玉県退教  
高橋 勇代議員



福岡高退教  
納戸満哉代議員



鹿児島退教  
長田拓郎代議員

原理にして1968年には女性退現教が発足。この間、男女の統合という話は何度もあったが、それぞれの歴史があるため困難を極めてきた。この1・2年の間に組織を強化するというよりも、厳しい攻撃を受けている現職の教育現場を支援するために男性とか女性とかを区別することなく一体化して応援しなければならぬとの話が出ていた。それを受け、昨年の10月、県段階で統合に向けた準備会が発足した。県段階では統合を進め、支部ごとの統合はそれぞれの活動を尊重しながら時間をかけて議論をし、統合に向けて進めて行こうとまとまった。6月13日に「大分県退職現職教職員協議会」の統合総会を持つに至った。統合になり次第、男女とも日退教に加盟する。要望は、日退教本部としても男女の組織の統合の気分を盛り上げ、更に統合に向けて努力している者の背中を押しして頂きたい。その為にも本部での男女の組織の統合を進めてもらいたい。

### 福島県退教 住谷圭造代議員

大震災から6年目だが、進展はみられない。原発の汚染水は止めようがない。内部の状況は依然として全く不明。国も東電も県も、住民の帰還は順調と見せかけたが、戻れない。若い人は少なくなってしまう。

そんな中でも、被災者である退教会員が代表となり「富岡メガソーラー」という太陽光発電システムを準備中である。どこからも謝罪のない中でも、自力でのとりくみが全県で広がっている。退教も支援を含めて取り組んでいるので機会があればお知らせしていきたい。

### 埼玉県退教 高橋 勇代議員

埼玉では戦争法反対の運動と同時に戦争とは何か、戦争になったら国民生活はどういう状況になるのかということ、戦争体験者を中心にして原稿を集めて敗戦70年史を作成しよう、昨年の総会で決定した。そして3月に完成し、各単会に1部さしあげ、県内の会員にも配布した。今度は法案反対とあわせて法案廃止

に向けての運動です。それに合わせて戦争或いは戦中・戦後の体験を語り継ぐというこの冊子の販売と語り継ぐ運動を重点的に展開しようということを決めた。やはり法案だけでなく、戦争体験者或いは知っている人がもう非常に少ないわけですから、その人たちの思いを伝えていくことが戦争法廃止に向けての一つの手がかりになるのではと思う。全国でもこのような運動に取り組めば成果があるのではないかと思う。一部500円です。

### 福岡高退教 納戸満哉代議員

参議院選挙を皆で闘おうという話をしたい。アベノミクスは失敗。消費税を集めて法人税減税を行い企業を守る。労働法を改悪して人件費を削減し競争力を維持しているのが企業の現状。年金の積立金を投資して株価を維持している。国民の中にあるものを全て使って現状を維持している。安倍がこの様なことをやって日本の産業を低下させ、疲弊させている。原発や兵器を売るまでに至っている。安倍に

このまま日本を任せていたら日本は滅びる。その意味で今度の参議院選挙ではどんなことがあっても勝たなければならぬ。福岡県の選挙区では定数は2名から3名になった。安倍に反対する勢力で一致して統一候補を作ろうと努力をしてきたが、結果的には出来なかった。社民党公認として福岡高退教竹内信昭が頑張っている。それぞれの事情を乗り越えて今度の選挙を闘い抜いて頂きたいとお願ひしたい。

### 鹿児島県退教 長田拓郎代議員

参議院選挙に向けて意見を述べたい。日退教会長などの話を聞いて、今回の参議院選挙の状況の厳しさを感じた。鹿児島でも、あなたにや氏を落とすと日教組・鹿児島県教組が危ないということで取り組みを始めている。32の、1人区で野党統一がなった。その様な状況の中に鹿児島もある。選挙区でも、あなたにや氏でも頑張らなければならぬ。そこで議案の3ページ8行目「……の当選をめざし」と「最大限とりくみます。」

……」の間に「各地区推薦議員の必勝を期して」の語句を入れて頂きたい。この様な文言を入れて頂くと元氣よく帰って頂ける。4ページでも同様。その様な文言を入れて頂ければ全国的な広い議案になつていくのではないか。是非宜しくお願いをしたい。

### 山口県退教 赤間 至代議員

岩国基地はオスプレイ配備

などを今やアジアで第一の規模にまで拡大されている。岩国は沖縄や韓国の仲間と連帯をしてこれからの闘いを進めてまいりたい。1の付く日は市民が座り込みなどで抵抗の意志を表示している。山口県退教もその中に加わって闘いを進めている。辺野古の新基地建設に対し、瀬戸内海にある島々を削って土砂を辺野古に運んで行くという計画が明らかになった。基地の為に土砂を持つていくということ許してはならない。

上関に30年前に原発を作るという計画が持ち上がったが、住民が反対闘争を展開し、まだ1基も作らせていない。この闘いも継続的に進めていき



山口県退教 赤間 至代議員



兵庫県退教 山名幸一代議員



福岡県退教 中村元氣代議員



北海道退教 北島義久代議員



沖縄県退教 仲村勝彦代議員



愛知県退教 青木 一代議員

たい。

参議院選への取り組み。山口県退教はこれまで推薦という組織決定をしてこなかったが、安倍の選挙区は山口で、ここで当選してきている。今回は情勢が逼迫している。危機意識を高めてあなたにや氏をはじめ、統一候補を当選させなければならぬ。地元に戻つてそういう議論を深めてまいりたい。

### 兵庫県退教 山名幸一代議員

兵庫では、選挙区で「みず

おか俊一」が3期目の戦いをしている。昨年の統一地方選挙では日政連・兵政連の各議員は民主党を名乗つて闘ったが、大変な逆風と神戸を中心とする大阪維新の侵略があり、日政連の県会議員と神戸市の議員はゼロという歴史上初めての危機的な状況を迎えてしまった。その後、兵庫の民主党国会議員2名が離党したため、現在、民進党を名乗るのは「みずおか俊一」一人になっている。ただ、兵庫選挙区は今回から2名から3名になり、自民、公明、大阪維新、共産と「みずおか俊一」で3議席

を争っています。県教組、退教も必死の戦いをしています。何としても「みずおか俊一」の当選を勝ち取るつもりだ。

### 福岡県退教 中村元氣代議員

3点報告したい。一つは戦

争法反対の取り組み。日退教の理解のもと、緊急カンパを行い50人の自主動員で闘った。福岡県退教のモットーは「緩やかな運動、楽しい団結」だが、そんなことを言っている時代ではない。激しい運動、厳しい団結で昨年は頑張った。

二点目。被爆・敗戦70年で、福岡県・高退教合同で第16次の中国旅行に行つて来た。下は中学生から、上は78歳の退教の会員まで27名が参加。武漢・哈爾濱・瀋陽・南京・上海と回つて来た。暑いときであつたが無事全員帰つて来た。南京市記念会館では戦争法反対のアピールも行つてきた。

最後に組織問題。2017年から政令市に権限・財源が移行するというので、政令市教組は福岡県教組から独立をする。福岡市教組と北九州市教組が独立をし、県教組は

19支部が17支部に減少する。現職はその様な道を選んだが、退教の方は今まで通り、一体で頑張つて取り組んでいきたい。

### 北海道退教 北島義久代議員

辺野古の座り込み行動で身

に覚えのない理由で逮捕された。これから公判である。この間の日退教や皆様の抗議などが支えとなり21日間頑張ることができた。支援に感謝している。この体験で「戦争法」と辺野古の問題はやはり一体のものだったと再確認した。私たちの闘いは間違いではなかった。「若い人のためにも何とかしなければならぬ」と孫にも説明した。

札幌での「19日集会」では自衛隊員の母が「生きてほしい。殺さないでほしい。」と訴えている。これからも引き続き運動に取り組んでいこう。

### 沖縄県退教 仲村勝彦代議員

日退教が2010年から始めた、沖縄の反戦平和と辺野古の新基地建設に反対する取り組みに対して心から感謝申し上げたい。辺野古の闘いに

は毎日全国から応援が来ている。沖縄教と高退教は、毎週具体的行動を取り、2014年の7月から辺野古の座り込み闘争は、今日で705日目。多いときは300名、400名の人達が応援を続けている。私達の組織も50名ほどの者が先頭に立って頑張っている。勝つまで絶対諦めない。新基地が建設されればオスプレイが100機配置されるなど大きな軍事基地になる。

4月28日に若い女性が犠牲になつた。米軍属によつて殺害されて雑木林に捨てられるという無惨なことが行われた。来る19日に10万人を目標にして抗議行動をしようとして決めている。同じことが二度とないようにする為に、海兵隊の撤退・軍事基地撤退・地位協定の改定を目指して頑張っている。沖縄が二度と戦地にならないために頑張っていきたい。

### 愛知県退教 青木 一代議員

愛知は斎藤よしをか立てて頑張っているが、先程の発言にもあつたように兵庫の「みずおか俊一」さん同様、厳しい闘いをしていく。愛知

## 今後の日程

- 9月4日～8日  
第3回東アジア海外研修旅行  
定員40名になりました。謝辞。
- 9月26日 第1回ブロック代表者会議、  
第3回役員会
- 9月27日 地公3単産高齢者集会13:30  
日本教育会館
- 9月28日 退連高齢者集会13:00  
文京シビックホール
- 10月2日～3日  
第7次沖縄交流集会（その2）
- 10月12日 第23回五者学習会11:00  
ラ・ポール日教済  
第4回役員会16:00
- 10月13日 第22回日退教組織活動交流集会  
ラ・ポール日教済10:00
- 11月13日～14日  
福島原発被災スタデーツアー

性部の活動を知らせてほしいという要望がある。女性差別撤廃条約批准から30年が経過しているが、世の中の状況は変わっていない。男女平等参画に向けて日退教は率先して取り組んでほしい。



沖縄県退教  
特別決議を提案する平安常清代議員



北海道  
山根正子（傍聴）



千葉県退教  
平野直比古代議員

選挙区は、今回3名から4名に増えたが、民進党は2名の立候補のため、共倒れの危険性があり、そうなれば教育が衰退していくのではないかと心配をしている。民進党、連合の本部はどう考えているのかと思う。名古屋の川村市長は、民主党の国会議員を裏切って市長になり、学校の先生のことを「先公」、子どものことを「餓鬼」というような人間だ。今、愛知教育大学の卒業生は、教育実習で先生方の働く姿を見て、「教員になるのはいやだ」と他の地方公務員になっていく。「斎藤よしたか」の当選を全力で勝ち取らなければならぬ。

千葉県退教  
平野直比古代議員  
千葉の館山は、1,000人の自衛隊員、関係者は5,6,000人という基地のある街だ。ここで昨年の戦争法があったとき、基地に就職した人が5か月で退職、知人は自衛隊ヘリコプターのパイロットをやめて救急ヘリのパイロットになった。退教館山支部は、竹田事務局長を迎えて平和集會を開催した。昨年、今年と2名ずつ会員が増えたが、やはりこのような時事問題に取り組まなければならないということだ。

一をして、今年もやろうとしている。

北海道退教  
山根正子（傍聴）  
日退教には、他の県の女性部の活動を

## カンパの要請

これまでのカンパに加え、新たに熊本地震カンパをお願いします。ぜひ、会員個人に呼びかけてください。

1. 東日本大震災・脱原発カンパ
2. 辺野古基地建設反対カンパ
3. 戦争法廃止カンパ
4. 熊本・大分地震支援カンパ

振込先

中央労金一ツ橋支店 普2039126  
日退教カンパ会計(代表)西沢 清

なお、Faxで内訳を報告してください。  
日退教に内訳を一任する場合は「一任」と記載してください。

## ◆編集後記◆

元氣の出る本を一冊。「アリスの奇跡 ホロコーストを生きたピアニスト」キヤロライン・ステシージャー著 谷口由美子訳 悠書館発行  
アリスはプラハに暮らしていたピアニスト。ユダヤ人であるためテレジンの収容所に送られるが生きぬき、解放後はイスラエル、イギリスに暮らし、二〇一四年一一〇歳で死亡。なくなる数日前までピアノを弾いていた。本の中ではアリスの生き方に焦点をあて、収容所の過酷な状況はそれほど語られてはいないが、やはり戦争とは何かを考えさせられる。収容所では音楽が度々行われていた。それをアリスは「音楽は自分の内なる価値や心を思い出すための手段」だったと言う。著者は、音楽が演奏家にも聴衆にも絶望を押し返す力となっていたこと、それはナチスも気づいていなかったことを指摘する。また、いかなる状況でも希望や笑いを失わない生き方の大切さも語っている。

人間の精神はいかに崇高か、希望を持って学び続けることは人をどんなに豊かにするか。世間も高齢者自身も「若さ」に価値を求めることも多い。確かに「若さ」はすばらしいが、年齢を重ねることも美しく美しいと気づかせて考えさせてくれる。アリスの言葉、「他人を理解すること、それが平和への道」「戦争は戦争を生む、それ以外にない」を心に刻んで、安保法反対等に前を向いて取り組みたい。

(た)